

■中国：2009年1月～11月の電力需給状況

中国電気事業連合会は2009年12月14日、1月-11月までの電力需給状況を発表した。1月から11月までの全国消費電力量は前年同期比4.77%増の3兆2,990.78億kWhであった。内訳は、第一次産業用は同8.09%増の869.85億kWh、第二次産業用は同2.62%増の2兆4,378.76億kWh、第三次産業用は同11.60%増の3,575.41億kWh、家庭用は同11.87%増の4,166億kWhであった。また、11月単月の消費電力量は前年比27.63%増の3,283.88億kWhであった。一方、1月-11月までの発電電力量は前年同期比5.2%増の3兆2,916.39億kWh（注：風力発電含まない規模以上発電所（売り上げ500万元以上）のみ集計）で、水力は同5.1%増の5,195.89億kWh、火力は同4.9%増の2兆6,683.28億kWh、原子力は同1.7%増の638.11億kWhであった。1月-11月までの発電設備の稼働時間は前年同期間より189時間減少し、平均4,138時間であった。その内、水力発電設備は318時間減の3,165時間、火力発電設備は130時間減の4,377時間であった。電源投資額は2,827.03億元で、水力は657.73億元、火力は1,186.93億元、原子力は479.36億元、風力は492.95億元であった。新規運開設備は6,902.81万kW、水力1,505.27万kW、火力4,876.18万kW、風力520.45万kWとなった。